

実践事例演習Ⅰ 事前課題「理論を言語化する」

ワークブックⅡ掲載（p19～21）の事例を読み、社会福祉士を目指している学生に、「3つの事例それぞれについて、ソーシャルワーカーの機能と実践のために活用されているモデルやアプローチ」を説明するためのレジюмеを作成してください。

参照文献：基礎研修テキスト（上）P12～P123

（※下線部分と以下の枠内が、ワークブックp18の事前課題との変更箇所です）

○レジюмеは、3つの事例をA4用紙1枚～2枚で配布用資料としてまとめてください。
レジюмеの先頭に、受講者番号、受講者氏名を必ず記載ください。

（指定の書式はありません）

○レジюмеの内容は15分で発表できるようにまとめてください。

なお、発表においてプロジェクター等の機材は使用できません。

「理論を言語化する」のが本演習のテーマです。ご自身で考えたまとめ方でレジюмеを作成してください。そのためレジюмеについて、質問項目を箇条書きで作成、学生に質問し学生が説明するだけのまとめ方は、課題の意図に合いません。

○レジюмеは7部準備してご持参ください。（グループメンバー用と講師用です。
講師用の1部は、受付で提出してください。）

○事前課題の提出がない場合は、講義の出席は認められません。

◎事前課題の提出のお願い

・提出締切： 2026年7月3日(金)

・提出先：kensyu-kadai@hacsw.or.jp

★件名に「基礎Ⅱ7月3日提出課題」とご記入ください。

★添付する課題には、必ず受講者番号・お名前をご記載ください。

★課題を作成する際に、ファイル名は「受講者番号+お名前」としてください。

入力例：受講者番号2026201福祉太郎さんが課題を提出する場合

「2026201福祉太郎」と入力してください。

集合研修4「実践事例演習」(研修③)では、実際にレジюмеを使用してグループ内で発表していただきます。当日までに作成したレジюмеを使用して内容が説明できるようにしておいてください。

☆ワークブックp20の事例②の補足説明

・下から5行目「配てん」は、「割り振りする」と同じ意味です。